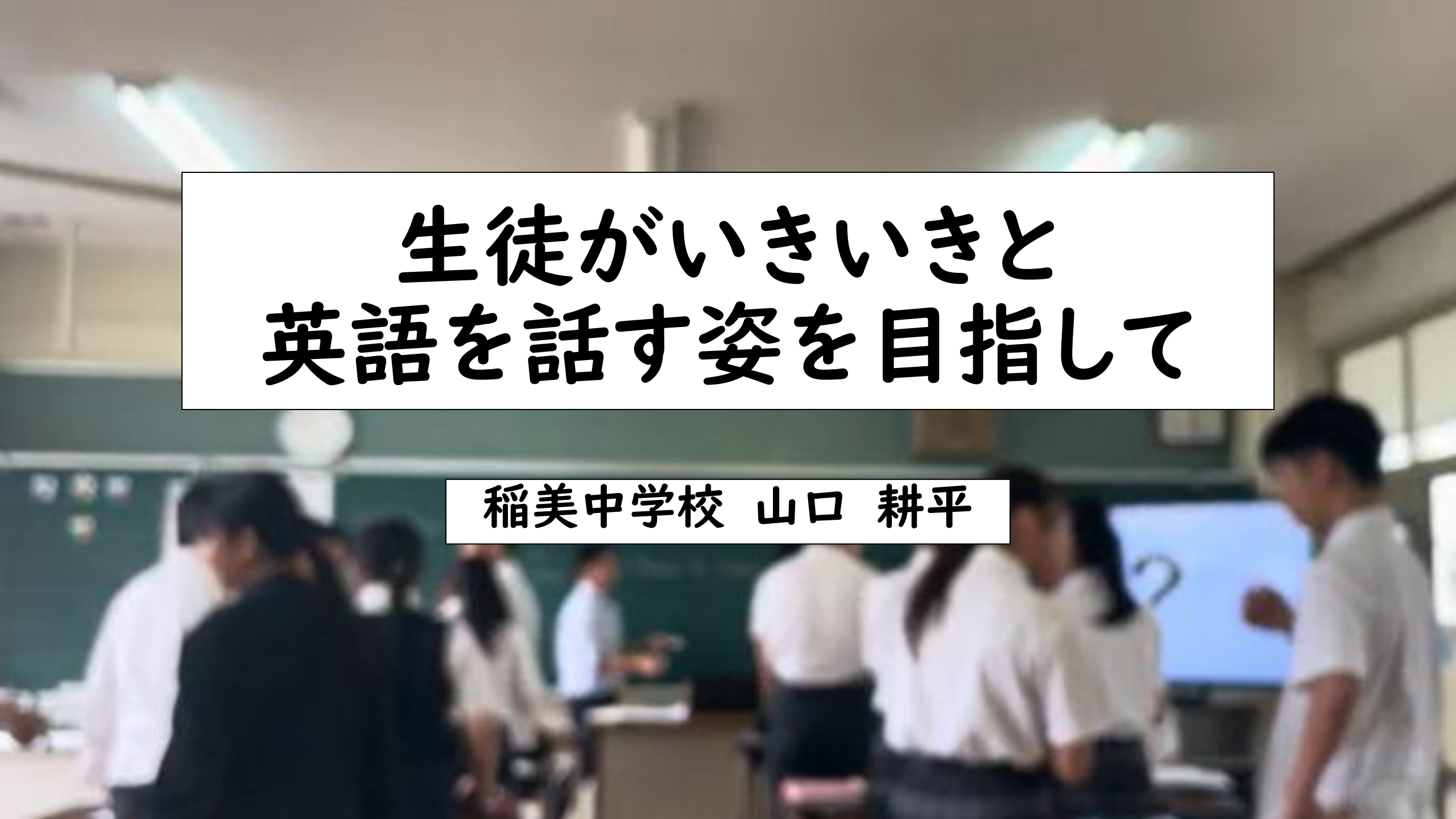




生徒がいきいきと 英語を話す姿を目指して

稲美中学校 山口 耕平

私がしていた「知識を教える」授業

- ①知識の定着中心。「正解を求める」問題演習。思考の深まりがない・・・。
→正解がわかれば英語が得意、わからなければどんどんおいてけぼりに・・・。
- ②生徒は基本受け身・・・。
→「英語なんて日本にいたら話す必要ないやん。」英語を話す雰囲気×。
英語を話す楽しさが伝わらない。話すときは参考にできる定型文が必要。
- ③発表のための原稿はだらだらと準備。そして内容を丸暗記。生徒は常に「させられている」。
英語がわからず、翻訳頼み。そんなスピーチは聞いている人がわからない・・・。

学習指導要領 第2章 各教科 第9節 外国語

第1 目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

授業での学びが目標達成につながっていない・・・。

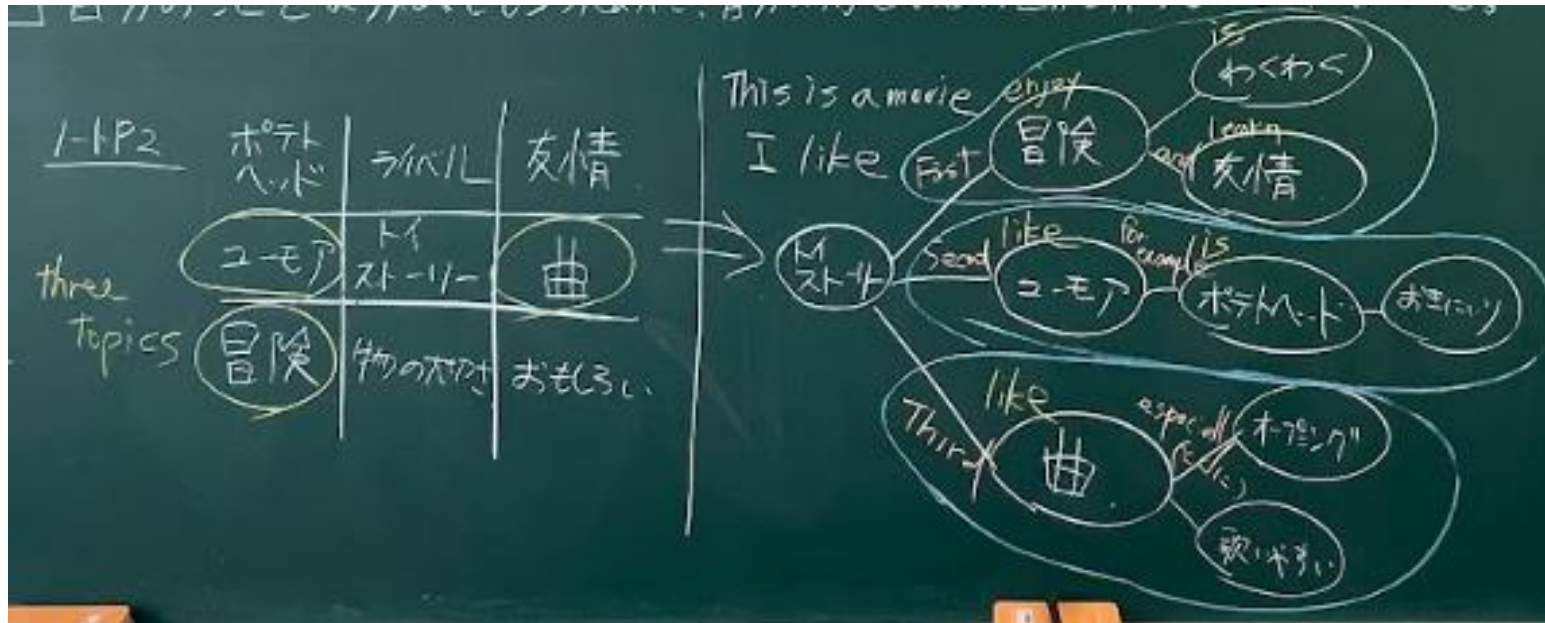
今している「考えをひきだす」授業

・思考ツールとの出会い

→マンダラ・チャートで発想を「広げる」

階層式マッピングで考えを「つなぎ、深める」

☆生徒が自分の言葉で「話したい」「伝えたい」という思いをひきだす授業を。



生徒の様子（4月から思考ツールを導入して）

Before

- ①文法説明後、プリントで言語活動・復習（教師主体、生徒は受け身）
- ②目的：知識の定着、正解を求める
- ③みんな一斉に同じ文を作っていた。
- ④教科書の音読や英文をリピートさせているのが英語を話している時間だった。
- ⑤英語を話す習慣が普段作れていないので、間違いを恐れて英語を話すことに抵抗を感じている生徒が多い。

After

- ①思考ツールを活用した生徒間の活発なペア活動・やりとり（生徒は思考を深める）
- ②目的：自分の思考を深め、英語というツールを活用して仲間やALTに伝える。
- ③それぞれが「自分ごと」の英語を作っている。より、自分のことを知るきっかけにもなる。
- ④自分の伝えたいことに関して意思疎通するので、話し手も聞き手も意欲的に取り組む。
- ⑤英語で自分を表現する習慣ができてきたので、失敗を恐れず、英語を話す抵抗が徐々になくなってきている。

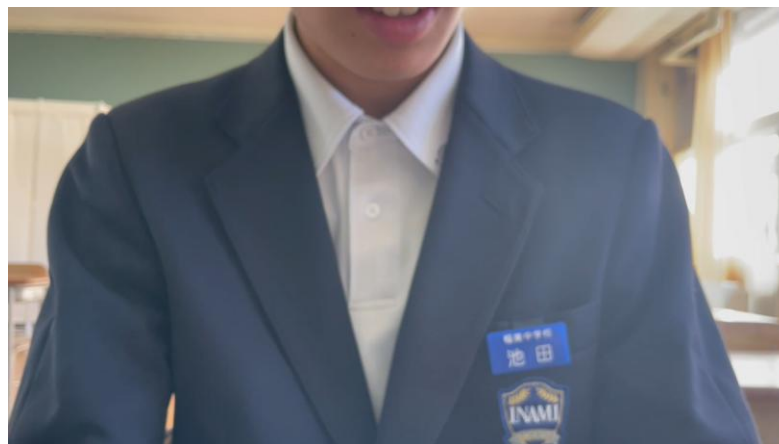
3年3組のある生徒の変容

5月の2者面談にて

→将来の夢は決まっているが、高校で特にしたいことはないので、正直、いけたらどこでもいい

9月の2者面談にて

→英語は難しいけど、話すのは楽しいし、上手に話せたらカッコいい。
高校でもっと英語を学びたい（高校は国際科に進学希望）



教師の様子（4月から思考ツールを導入して）

Before

- ①日本語での説明がほとんど。英語をいうときは「Repeat after me」。機械的作業。
- ②目的：新出文法を理解させること
- ③子どもが楽しむ目的のアクティビティの考案と説明スライド作りに時間をかけていた。
- ④英語で指示を出しても生徒は理解しないだろうと思い、英語は使わなかった。モヤモヤ
- ⑤授業の雰囲気は静か。時間が長く感じた。

After

- ①ほぼAll Englishでの指示。
ジェスチャーやイラストで視覚的なサポート。
- ②目的：新出文法を活用していく中で理解させる。活用した後、「気づき」を与える。
- ③子どもたちが英語を話したいと思う目的
「場面・設定・状況」を考えるようになった。
- ④英語を話すことをまずは**自分が楽しむ**という使命をもって、授業をするようになった。
- ⑤授業の雰囲気は明るい。教師が演じる。
時間が短く感じる。かつ、生徒理解ができる。

福岡市の授業を視察した後の自分の変容

①**All English**で和訳をしない授業を。

ただし、視覚的なサポートは十分に行う。

①**授業のめあて**を必ず板書

②**基本文の定着**を徹底 (Key sentences)

③**疑問詞の定着** そのために、掲示物を作成

④マッピングを使って英語で伝えるときに活用できる**動詞の一覧**を作成

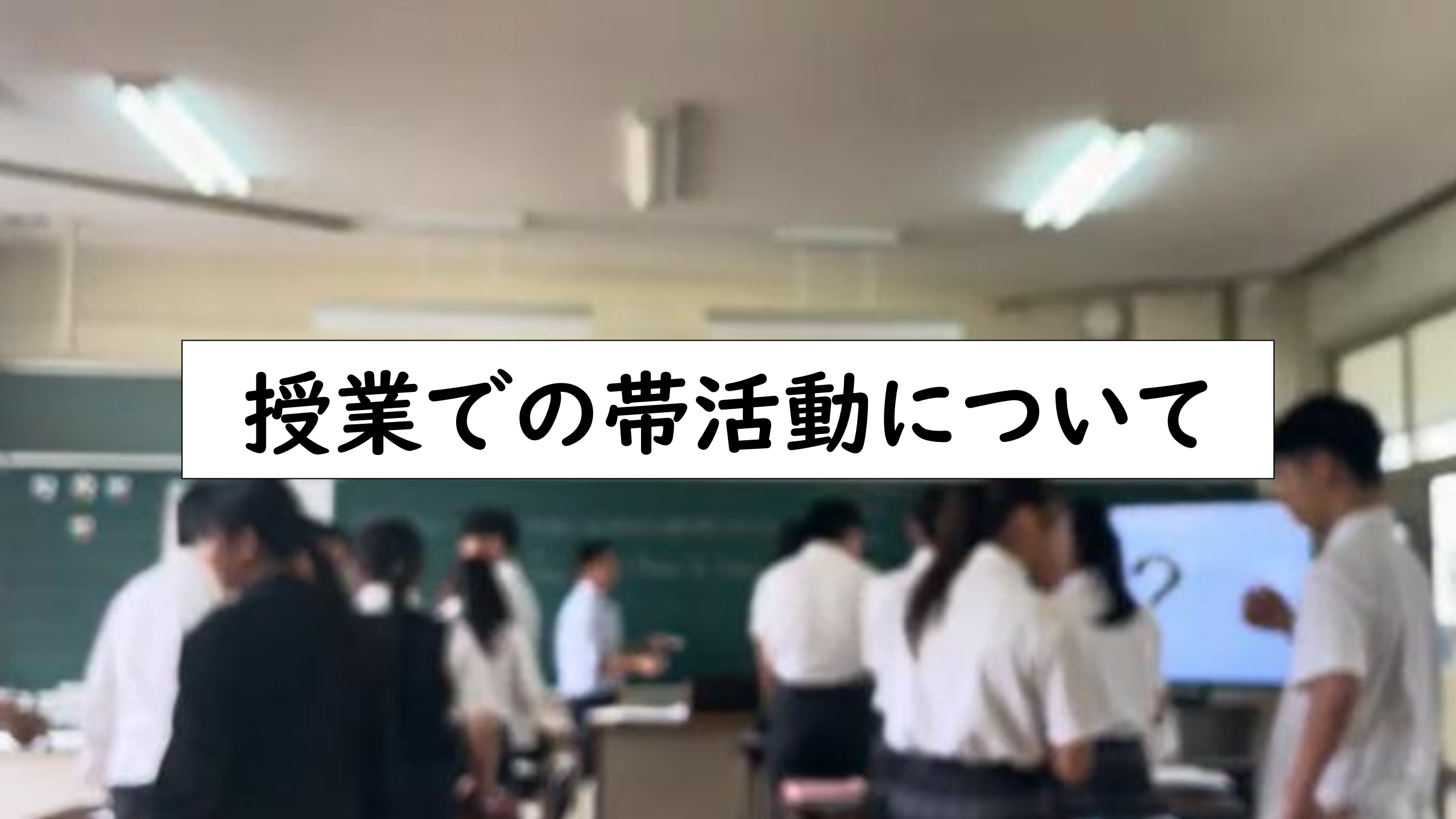
⑤毎回の授業の終わりに**振り返りシート**を書かせる。教師はコメントを書いて返却

⑥**ディスコースマーカー**の活用 まずは so, because, but から

⑦教師が理想の英語話者のイメージを演じる。**教師が授業を楽しむ。**



授業での帯活動について



便利アイテム 首かけタイマー

生徒は活動中、黒板に貼ってある大きいタイマーをあまり見ていない。
黒板につける大きなタイマーを使うとタイムマネジメントをタイマーに任せっきりになってしまう。

首かけタイマーにすると、生徒の活動中に机間指導しながら、
教師が時間を調整できるようになる。



帯活動① Key sentences ペア練習

1年Key Sentences - ①			
No.	日本語	No.	英語
1	私はエドワード・トラウトです。	1	I am Edward Trout.
2	私は日本の甘い菓子が好きです。	2	I like Japanese sweets.
3	あなたはラグビーが好きですか。 はい、好きです。【いいえ、好きではありません。】	3	Do you like rugby? Yes, I do. [No, I do not.]
4	私はラグビーをしません。	4	I do not play rugby.
5	あなたはアニメのファンですか。 はい、そうです。【いいえ、ちがいます。】	5	Are you an anime fan? Yes, I am. [No, I am not.]
6	私はアニメのファンではありません。	6	I am not an anime fan.
7	こちらは純です。彼は1年1組です。 彼は1年2組ではありません。 こちらはチェン先生です。彼女は私たちの新しい先生です。 彼女はアメリカ出身ではありません。	7	This is Jun. He is in Class 1-1. He is not in Class 1-2. This is Ms. Chen. She is our new teacher. She is not from America.
8	彼はサッカー部に入っていますか。 はい、入っています。【いいえ、入っていません。】	8	Is he on the soccer team? Yes, he is. [No, he is not.]
9	私はぎょうざを作ることができます。 私はシュウマイを作ることができません。	9	I can make gyoza. I cannot make shumai.



- ペアで1人が和文を読み、もう一人は「何も見ないで」高速で英語にしていく。言えたものにチェックをつけていく。
- 1分交代でする。
- 和文は自分の普段話している言い方で言う（関西弁）。
→日本語から英語に瞬時にいえるようになると、英語を話せるようになってくる。

帯活動① Today's Teacher

☆生徒は教師より仲間の話の方がよくきく。

- ①教師役には責任を持って進行をさせる。(曜日、日付、天気)
- ②「自分」についてのスピーチを行う。(1分程度)
- ③聞き手はキーワードをメモする。
- ④スピーチの後、聞き手はメモしたキーワードをもとに質問を考える。

→即興で質疑応答。



帯活動② Picture Describing

- 即興で英語を話す訓練
- 生徒が「話したい」と思うような題材を教師は考える。
- 即興で言うので、「間違いを恐れない。楽しむ。」という土台を作る。
- 英語で説明することを目的としているので、ジェスチャーは禁止
- ペアで話す活動は立って向かい合わせる。
- キャラクターや果物、野菜、日本文化などをテーマに相手に説明し、なにかを当てさせる。説明した文を後で共有する。



振り返りシート（授業の最後）

- 今日の授業のめあて、自分が理解できたこと、仲間からの学び、難しかったことやモヤモヤしたことなどを**自分の言葉で言語化**する。
- 教師は毎回点検し、1人1人に短いコメントを返す。
- コメントを返す中で、**子どものつまづき**がわかる。
- マスにすると子どもは書きたくなる。
- 一番下に今回の授業で使った英文を書く。

10月16日	めあて	自分のことをより知ってもらうために、自分の好きなものを紹介すること。
自分の好きなものについて、英語で話すのは大変だと思		
ったけど、だれかに知ってもらえるのはうれしいことな		
ので、言葉で表現できるようにがんばっていきたいです。		
My favorite character is Okitasoji.		



そうできると知ってもらうために、がんばりたいっ！

10月16日		めあて		自分のことを知ってもらうために、自分の好きなことを紹介できる。																	
今日は紹介するための準備をして、好きな物なのを書き																					
やすか、たてた。This is a book I like. と先に物、後に動																					
詞がくる文があるのだと知りまいた。Yes!! 文のつくりを																					
This is a book I like.		使いたてから覚えていこう!																			

文法を先に教えない。気づかせる。

10月27日				めあて		自分の尊敬する人を考え、理由を整理することが出来る。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ある程度、	頭の中に	文が浮か	んでしま	した。	マンドラ	ー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						</

10月27日			めあて		自分の尊敬する人を考え、理由を整理することが出来る。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
マッ		60		ン		グ		で		理		由		を		整		理		レ		て		自		分		が		気		づ		か		な		か		。た		理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
由		に		も		気		づ		く		こ		と		が		で		き		た。		次		は		こ		れ		を		英		語		に		か		え		て		自																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
分		の		伝		え		た		い		こ		と		を		伝		え		い		る		方		う		に		し		た		い。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

マンドラートで思考を広げる

ご清聴ありがとうございました

